

(様式 1-3)

福島県帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和元年 11 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	27	事業名	環境放射能監視事業		事業番号	(3)-22-2
交付団体		福島県	事業実施主体 (直接/間接)		福島県 (直接)	
総交付対象事業費		(425, 206) 436, 888 (千円)	全体事業費		(425, 206) 435, 322 (千円)	
帰還環境整備に関する目標						
原発被災による避難指示が出された区域では、多くの住民が放射線への不安を抱えながら避難生活を続けているが、避難指示の解除も進んでいる中、帰還後における住民の安心・安全を確保するため、平成 26～27 年度に整備したリアルタイム線量測定システム及び可搬型モニタリングポストを運用し、原子力規制庁 HP 及び県 HP で各地域のきめ細かな放射線量の情報を提供する。						
事業概要						
平成 26 年度に整備した可搬型モニタリングポスト 1 台及び平成 27 年度に整備したリアルタイム線量測定システム 104 台で空間線量率を常時測定するとともに、クラウド環境で測定データを収集し、放射線量の監視を行う。 測定データは、原子力規制庁 HP 及び県 HP で公表する。 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください						
当面の事業概要						
＜令和元年度＞ ・南相馬市、伊達市、川俣町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、葛尾村及び飯館村において、可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システム計 105 台を運用する。 ・台風 19 号により浸水被害等に遭ったリアルタイム線量測定システムの修繕等を行う。 流失：川俣町 1 台、浸水：南相馬市 1 台、飯館村 1 台						
地域の帰還環境整備との関係						
可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システムで常時放射線量を把握することで、きめ細かな放射線量の情報を提供するとともに、住民の安心・安全の確保を図る。						
関連する事業の概要						
第 3 回 可搬型モニタリングポスト 1 台の整備 (4, 327 千円) 第 6 回・7 回 可搬型モニタリングポストの運用 (38 千円) 第 10 回 リアルタイム線量測定システム 104 台の整備 (164, 115 千円) 第 12 回 可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システム計 105 台の運用 (42, 778 千円) 第 16 回 可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システム計 105 台の運用 (46, 209 千円) 第 20 回 可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システム計 105 台の運用 (44, 165 千円) 第 24 回 可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システム計 105 台の運用 (63, 952 千円)						
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。						
関連する基幹事業						
事業番号						
事業名						
交付団体						
基幹事業との関連性						



# 設置箇所位置図

